

事業所名 グループホーム のどか
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 4月29日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 医療機関経営管理者
資格・経験 特別養護老人ホーム生活相談員、臨床工学技士
B:現職 社会福祉法人生活指導員
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

○平成4年の開業と、早くから認知症介護に取り組んでいるグループホームである。住宅地の中にある木造民家を増改築したグループホームで、住み慣れた環境の中でその人らしく生活できる環境である。

○ホームは、木造民家らしく障子や畳の部屋など、入居者がかつて生活してきた馴染みのある生活空間である。精神的・物理的にも生活の拘束感はなく、常に認知症介護の理念が日常介護に生かされていることが職員との面談や会話で実感することができた。

○施設基準の変更などにより現状を維持することが困難となり、今年10月には、新たに小規模多機能介護機能を持った複合的で総合的な高齢者介護施設として別の場所に新築移転することが決まっている。グループホーム介護の原点のような環境が無くなることは残念に思うが、今後も、今までの歴史と実績に裏づけされた「グループホームのどか」の伝統を発展させ、認知症介護の先駆的役割を果たしてもらいたい。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

特に無し

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>○一人ひとりの生活経験や性格をよく把握し、グループホームの理念である「普通の生活」ができるよう配慮している。</p> <p>○入居者が可能な限り自立し、生きがいを感じられる日常生活を送れるように支援するようにしている。</p> <p>○職員は入居者と共に、いつも笑顔で一緒に生活を楽しむように見守り、サポートするように努力している。</p> <p>○入居者のターミナルケアには具体的に指針を設け、協力医療機関と連携して介護している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○入居者一人ひとりの生活要求をくみ上げ、生きがいを持って、疎外感や孤独感を与えない介護をするように取り組んでいる。</p> <p>○ホームは閑静な山あい位置し、共用空間は自然な明るさで騒音も少なく、介護も静かに行い、落ち着いた雰囲気維持できるように努力している。</p> <p>○業務の流れを固定せず、入居者のペースでゆっくり過ごす事が出来るように配慮している。年間行事も大まかなことは決めてあるが、その日・その時・その場に応じて入居者の気持ちを大切に、日常の暮らしに季節感を感じるようにしている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○入居者の生活歴や経験を重視し、個人を尊重し、集団の中でどのような役割が出来るかを考えて支援している。</p> <p>○本人の「やりたいこと」を大切に、疎外感や孤独感を感じないように配慮しながら、入居者の生きがいや遣りがいのある生活作りに取り組んでいる。</p> <p>○認知症を個性として理解し、入居者個人の人格を尊重する支援を行うように努めている。</p> <p>○入居者個人に関する情報の記録は、他に漏れることがないように徹底して管理している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>○介護技術のスキルアップを目指して積極的に研修会に参加し、その内容をレポートにして全職員が共有出来るようにしている。</p> <p>○入居者本位の生活の実現を目標に、個別ケアの充実に向け、人と人との繋がりを大切にする環境を構築するように努めている。</p> <p>○衛生管理・感染予防には、特に留意している。また、防火・防災避難のため、漏電・非常設置・排煙窓等、月2回自主点検を行い、入居者の安心・安全なホーム生活の確保に徹底している。</p> <p>○ヒヤリ・ハットを含め、事故報告書の記録を職員間で検討して問題点を改善し、事故再発防止に努力している。</p>		